

**製品名:** ビメンチンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21330

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:54kD

**抗原情報**

遺伝子名	VIM
別名	VIM;Vimentin
遺伝子 ID	7431
SwissProt ID	P08670
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

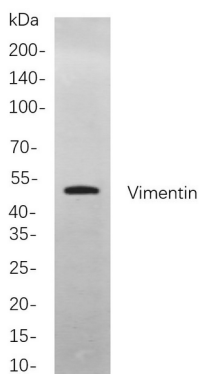
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は中間径フィラメントファミリーに属するタンパク質をコードする。中間径フィラメントは、微小管

やアクチンマイクロフィラメントとともに細胞骨格を構成する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞の形状維持、細胞質の完全性、そして細胞骨格相互作用の安定化を担う。また、免疫応答にも関与し、低密度リポタンパク質（LDL）由来コレステロールのリソソームからエステル化部位への輸送を制御する。接着、遊走、細胞シグナル伝達に關与する多くの重要なタンパク質のオーガナイザーとして機能する。この遺伝子の変異は、優性遺伝性の粉塵性白内障を引き起こす。[RefSeq 提供、2009年6月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Vimentin Rabbit mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。